

		事務事業No.		11-	3
事業名	農業振興対策事業	会計 一般	款 6	項 1	目 3
政 策	7 生活を支える担い手があり続けるために	課名	産業課		
施 策	7-1 農業の振興	係名	産業振興係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	目的（対象がどのような状態になっているか）	時代のニーズに即した安全・安心な食料供給を図り、農業の持つ多面的機能の保全・活用を進め、多様な農業振興施策を総合的・計画的に推進し、持続可能な農業に取り組みます。
事業内容	農業者、農業団体	景観形成作物栽培事業・・・町のイメージアップ及び地域活性化を図るため転作農地を有効活用し、コスモスの作付けをします。 認定農業者特別制度資金利子補給金 ・・・農業経営の効率化及び安定化を図るため、農業者等が借り入れた制度資金の利子補給金を交付します。 経営所得安定対策事業・・・米や麦、大豆等の畑作物も含めた生産数量目標の検討や対象作物の生産振興策等について協議しています。※東員町地域農業再生協議会運営費 水田麦・大豆産地生産性向上事業 ・・・水田における麦・大豆の生産拡大を推進するにあたり、効率的な作業を可能とするため、機械の導入支援を行います。 農業経営収入保険加入促進対策事業 ・・・自然災害による農業収入の減少等に備えるため、農業経営収入保険への加入を促進します。 多面的機能支払事業・・・地域の大切な資源である農地、農業用水路等の生産基盤を守り、農業の質の向上、農村環境の向上の取り組みを実施します。 有害鳥獣捕獲許可事務・・・有害鳥獣捕獲許可申請及び捕獲許可決定の手続きをします。 認定農業者等生産資材高騰対策支援事業 ・・・肥料価格の高騰による農業経営への影響緩和のため肥料価格の高騰分の一部に対して補助金を交付します。	

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）	
	1	認定農業者数（個人、法人）	30	32	32	件	→	30	
	2								
	3								
	4								
	5								
				令和4年度（決算）		令和5年度（決算）		令和6年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B				91,373		81,881		64,201	
財源 内訳	直接事業費 A			76,193		69,101		51,511	
	うち一般財源			13,362		18,606		18,222	
人件費（千円）B				15,180		12,780		12,690	
内訳	一般職員（人・千円）			2.30	15,180	1.80	11,880	1.80	11,880
	臨時職員（人・千円）			0	0	0.5	900	0.45	810

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善＜※主管課長記入＞

（1）事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	Ⅱ 継 続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

（2）事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	・担い手の農業経営を持続可能なものとするために、農業者に対する各種補助金等の交付や農業生産基盤の整備を行う。	③取組の課題	・生産性拡大を目的とした機械の導入支援などを実施し、転作作物の作付けは定着してきているが、その一方で収量が低迷している農業者や作物（特に大豆）に対し、今後の改善に向けたアプローチを検討、検証、実行していく必要がある。
②R5年度に実施した取り組み	・転作作物（麦・大豆）の作付けや生産性向上に取り組む農家に対する交付金関係業務を実施した。 ・麦、大豆の生産性拡大、化学肥料低減を目的とする農家に対して機械の導入支援を実施した。 ・イメージアップ、地域活性化を図るため転作農地を有効活用しコスモスの作付けを実施した。 ・適正な農地・農業用水路等の保全管理を行うため、2つの活動組織に対し農業が有する多面的機能が維持・発揮できるよう指導。	④今後の改善計画	・生産性向上に向けた取組に対し交付金を支払う産地交付金、土づくりや基本技術を徹底を実行している農業者の事例紹介など、収量向上に向けた取り組みを実施する。 ・多面的機能が維持・発揮できるよう2つの活動組織に対し継続した支援・指導を行う。